

全国障害者 リハビリテーション研究集会

2025 in 愛知

分科会
区分Ⅱ

医療機関
相談支援
向けセミナー

医療機関 相談支援

自立訓練

～地域生活に向けてバトンをつなぐ～

医療機関にできること × 自立訓練にできること × 相談支援にできること

11月27日（木）

分科会 区分Ⅱ：機関・地域連携と相談支援

今池ガスビル7階 プラチナルーム 13:30～18:00（入退室自由）

【講演】

「地域生活へ向けて相談支援がつなげる医療福祉連携
～相談支援が多機関連携のキーパーソンになる～」

厚生労働省 障害福祉課 相談支援専門官 小川陽 氏

【口頭（研究）発表】

「医療機関と相談支援機関が協同し、地域に足を運んで退院支援調整した事例紹介」
など複数題を予定

【座談会】

「医療機関から地域生活へバトンをつなぐための相談支援体制
～それぞれの立場から医療と福祉の連携を思案する～」

鈴木勇輝 氏（白山リハビリテーション病院 事務部長・MSW）

武藤徹 氏（相談支援ON 主任相談支援専門員）

小川陽 氏（厚生労働省 障害福祉課 相談支援専門官）

尾関諭（なごや高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター）

司会進行 小島一郎（名古屋市総合リハビリテーション事業団 相談支援部長／瑞穂区障害者基幹相談支援センター兼務）

分科会は、1日目PMの企画です。全体日程（11/27・11/28）は全体プログラムをご覧ください。
例えば11/27全日で申し込まれますと、AMの基調講演、行政説明にもご参加いただけます。

参加費 2日間とも 10,000円 どちらか1日のみ 6,000円 分科会のみ 4,000円



こちらのQRコードから、申し込みフォームへアクセスできます！

申込期限 令和7年11月14日（金）まで

（分科会のみ）
参加費
¥4,000

講演

令和6年度障害福祉サービス報酬改定で相談支援関連の報酬が手厚くなりました。事業所運営の安定化が相談支援の質の向上につながると考えられる中、報酬改定によってどのようなことが期待できるのか、厚生労働省の相談支援専門官から直接聞きましょう！！

口頭（研究）発表

医療機関と相談支援が連携し、地域生活へ移行・退院調整した事例など、医療機関や相談支援、自立訓練に関連した発表が予定されています。
そして、新たな動きも…??
また、分科会1・3に分類されないテーマの発表もここで扱います。

座談会

相談現場でも研修講師としても活躍されている主任相談支援専門員、都道府県をまたいだ退院支援調整をされている回復期リハビリテーション病院の医療ソーシャルワーカー、自立訓練のサビ管を兼務していた高次脳機能障害支援拠点機関のコーディネーター、そして厚生労働省の相談支援専門官を登壇者とした座談会を行います。

高次脳機能障害者支援に関わる制度整備が少しずつ進む中、自立訓練の利用率向上につながる医療機関との連携とは… 地域の相談機関へ求める動きとは… 持続可能な相談支援体制整備とは… 支援のバトンをつなぐそれぞれの役割分担や思いについて、学ぶ機会とします。

区分Ⅱ 機関・地域連携と相談支援に関する取り組み

どうしたら地域に**社会資源**が増えるのか！

多様な障害特性をもつ高次脳機能障害者に必要な**地域づくり**とは？

そのために求められる、**相談支援事業所運営**のあり方とは！？

場所：今池ガスビル

名古屋市千種区今池1丁目8-8
◎地下鉄桜通線・東山線
今池駅10番出口直結
◎JR中央本線
千種駅より東へ徒歩約10分



集え!!尾張名古屋へ!!!

事務局

TEL 052-835-4193 (直通)

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
自立支援部 生活支援課 大城・天野



りはみん